富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山市の平地積雪断面測定資料報告　1986～1987年冬

著者	黒田 久喜, 石坂 雅昭
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	11
ページ	141-143
発行年	1987-11-30
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=537

富山市科学文化センター研究報告第11号，pp.141-143 (1987)

富山市の平地積雪断面測定資料報告
1986～1987年冬

黒田　久喜・石坂　雅昭
富山市科学文化センター

はじめに

この報告は，1986～1987年の冬に実施した積雪断面観測の結果を示したものである。毎月5のつく日あるいは，その近日を観測日とした。今冬は，記録的な暖冬で観測した日はわずか3日であった。

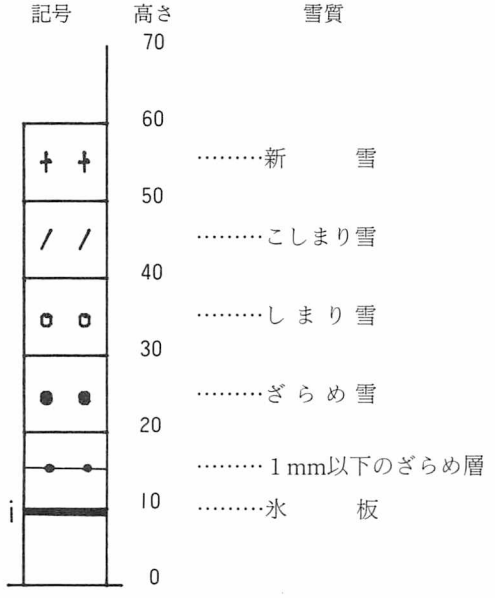
測定結果

測定場所は，富山市城南公園の草地である。測定項目は，積雪の層構造，雪質，温度，密度，硬度，粒度，および全積雪水量である。測定結果は表2に示した。表中の雪質および粒度は，表1に示した記号を用いてあらわした。また，「高さH」は地上高であり，密度G，硬度R，雪温Tsが測定された位置を示す。ただし，密度の場合は，角形サンプラーで採雪された雪の上面の高さで表わされている。硬度の測定には，木下式硬度計を用いた。図1は，富山地方気象台で測定された日最高気温，日最低気温および積雪深等を示したものである。

文　献

富山地方気象台編，1986．富山県気象月報，12月号．
――――――――，1987．――――――――，1月号，2月号，3月号．

表1　記号の説明

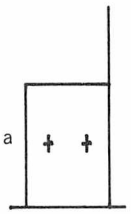
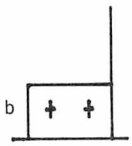
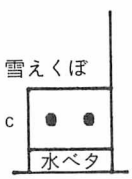


積雪の粒度

記　号	粒　度
a	0.5mmより小さい
b	0.5～ 1.0mm
c	1.0 ～ 2.0mm
d	2.0 ～ 4.0mm
e	4.0mmより大きい

表2　1986～1987年冬の積雪断面観測の結果

成層図に用いた記号の意味は表1に記した。高さHの項の最上部の値は積雪深を示す。
$\overline{G}$は，スノーサンプラーで測定した積雪水量Hwを積雪深で除した値である。

年月日 時刻 天気	成層図 粒度　雪質　高さ	高さ H cm	密度 G g•cm^{-3}	硬度 R g•cm^{-2}	雪温 Ts ℃	含水率 W %	全積雪水量 Hw 平均密度 $\overline{G}$ 気温 Ta その他
1987 I－26 9：30 〃		16 10 2	0.09	10	0 −0.2 0	全層 かわき	Ta＝−1.3℃
II－17 9：00 〃 曇		7				全層 ぬれ	Hw＝0.89g/cm^2 $\overline{G}$＝0.14g/cm^3
III－5 15：40 〃 16：30 晴		11	0.44	36		全層 ぬれ	Hw＝5.58g/cm^2 $\overline{G}$＝0.5g/cm^3 融雪はげしい

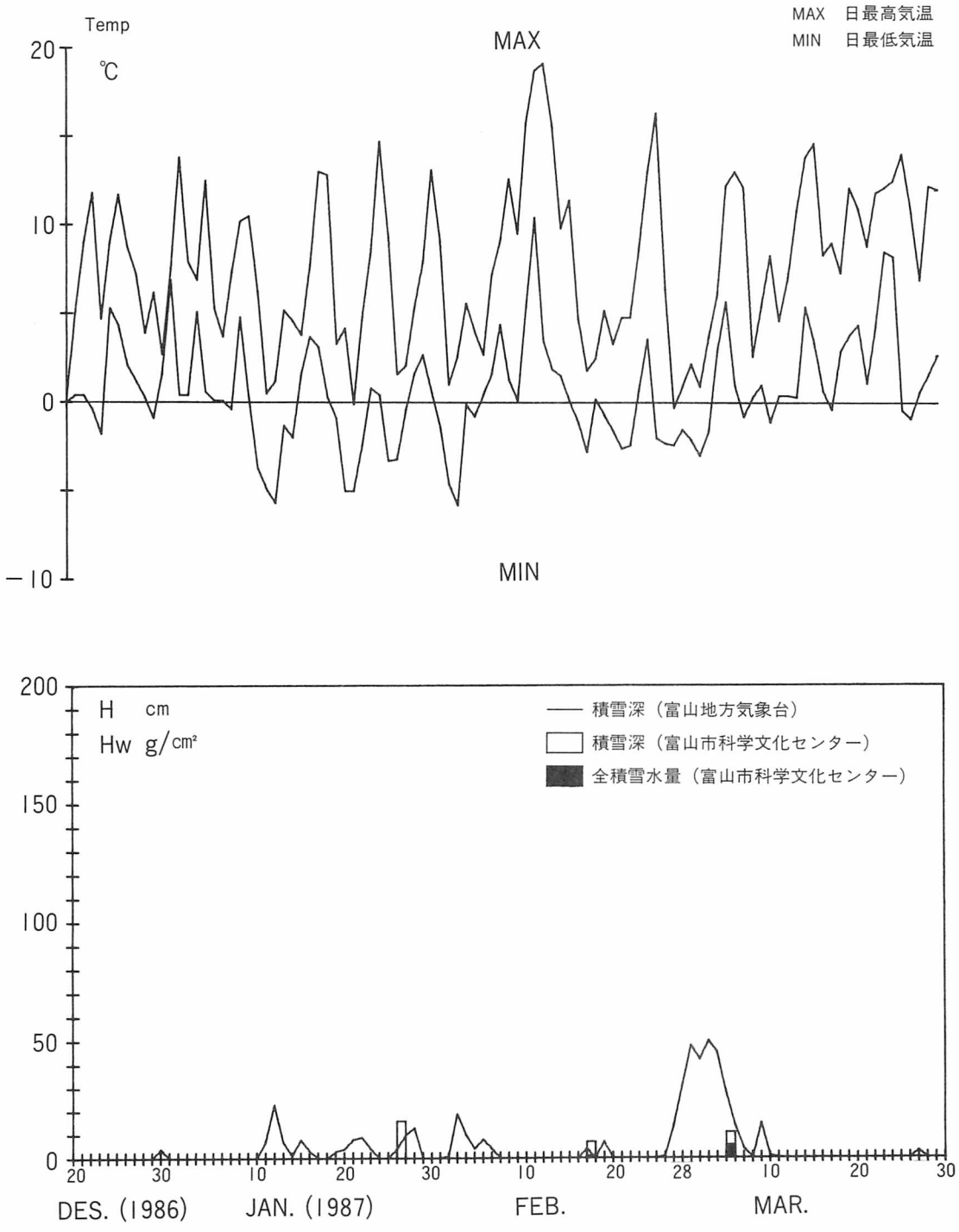


図１　日最高気温・日最低気温の日変化および積雪深，全積雪水量